

職業実践専門課程等の基本情報について

| | | | | | | | |
|---|---|-------------------------------------|--------------------|--|--------------|------------|------------|
| 学校名 | | 設置認可年月日 | 校長名 | 所在地 | | | |
| 福岡スクールオブミュージック & ダンス専門学校 | | 平成11年3月31日 | 花田 一穂 | 〒 812-0032 (住所) 福岡県福岡市博多区石城町21-2 (電話) 092-262-2118 | | | |
| 設置者名 | | 設立認可年月日 | 代表者名 | 所在地 | | | |
| 学校法人滋慶学園 | | 昭和58年12月23日 | 浮舟 邦彦 | 〒 134-0084 (住所) 東京都江戸川区東葛西6丁目16番2号 (電話) 03-5878-3311 | | | |
| 分野 | 認定課程名 | 認定学科名 | 専門士認定年度 | 高度専門士認定年度 | 職業実践専門課程認定年度 | | |
| 文化・教養 | 文化・教養専門課程 | 音楽プロデュース科 | 平成14(2002)年度 | - | 平成26(2014)年度 | | |
| 学科の目的 | 変化するエンターテインメント業界の中、専門分野の技術や知識に加えITスキルを活用した新しい感性とマネジメント力を持ちあわせたい人材の育成を目標とします。 | | | | | | |
| 学科の特徴(取得可能な資格、中退率等) | 【資格】JESC認定コミュニケーションスキルアップ検定、足場の組立て等作業従事者特別教育、舞台機構調整技能士3級、舞台・テレビジョン照明技術者技能認定2級、フルハーネス型墜落制止用器具特別教育 【中途退学率】1.7% | | | | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年 | 昼間 | ※単位時間、単位いずれかに記入 2,700 単位時間 単位 | 1,500 単位時間 単位 | 1,560 単位時間 単位 | 単位時間 単位 | 単位時間 単位 | 単位時間 単位 |
| 生徒総定員 | 生徒実員(A) | 留学生数(生徒実員の内数)(B) | 留學生割合(B/A) | | | | |
| 240人 | 98人 | 1人 | 1% | | | | |
| 就職等の状況 | ■卒業生数(C) | | 7 | 人 | | | |
| | ■就職希望者数(D) | | 4 | 人 | | | |
| | ■就職者数(E) | | 4 | 人 | | | |
| | ■地元就職者数(F) | | 0 | 人 | | | |
| | ■就職率(E/D) | | 100 | % | | | |
| | ■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) | | 0 | % | | | |
| | ■卒業生に占める就職者の割合(E/C) | | 57 | % | | | |
| | ■進学者数 | | 0 | 人 | | | |
| | ■その他 | | | | | | |
| | (令和5年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報) | | | | | | |
| 第三者による学校評価 | ■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載 | | 無 | | | | |
| | 評価団体: | 受審年月: | 評価結果を掲載したホームページURL | | | | |
| 当該学科のホームページURL | https://www.fsm.ac.jp/ | | | | | | |
| 企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入) | (A: 単位時間による算定) | | | | | | |
| | 総授業時数 | | 3,060 単位時間 | | | | |
| うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 | | 0 単位時間 | | | | | |
| うち企業等と連携した演習の授業時数 | | 1,560 単位時間 | | | | | |
| うち必修授業時数 | | 2,700 単位時間 | | | | | |
| うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 | | 0 単位時間 | | | | | |
| うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 | | 1,410 単位時間 | | | | | |
| (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) | | 120 単位時間 | | | | | |
| (B: 単位数による算定) | | | | | | | |
| 総授業時数 | | 単位 | | | | | |
| うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 | | 単位 | | | | | |
| うち企業等と連携した演習の授業時数 | | 単位 | | | | | |
| うち必修授業時数 | | 単位 | | | | | |
| うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 | | 単位 | | | | | |
| うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 | | 単位 | | | | | |
| (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) | | 単位 | | | | | |
| 教員の属性(専任教員について記入) | ① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) | | 5人 | | | | |
| | ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) | | 4人 | | | | |
| | ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) | | 2人 | | | | |
| | ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) | | 0人 | | | | |
| | ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) | | 3人 | | | | |
| | 計 | | 14人 | | | | |
| 上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数 | | 5人 | | | | | |

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程の編成において、企業・団体等の意見を活かし、必要となる最新の知識、技術を反映するために、企業・団体等が委員として参加する教育課程編成委員会を設置する。また委員会においては、教職員と業界で活躍する非常勤講師が講師会において検討している授業科目の開設や授業方法の改善等の情報や、年2回開催(7月・10月)の合同企業説明会/新人発掘プレゼンテーションでの企業アンケート、また随時教務担当者による企業訪問等を通じての意見も十分に考慮して、教育内容に反映していくものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程の編成は、理事会のもとに設置された教育課程編成委員会において討議した内容を十分に考慮した上で、学科会議において編成を行なうものとし、委員会の適切な運営は理事長が担保することとなっている。また、教員組織規則において、「委員会の審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施する教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従って委員会を運営することとし、PDCAサイクルの過程により教育課程編成の意思決定を行う。Pプラン(教育課程編成委員会)、D実行(学校・学科)、Cチェック(教育課程編成委員会)、A改善(学校・学科)

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年4月1日現在

| 名前 | 所属 | 任期 | 種別 |
|--------|------------------------|------------------------|----|
| 永吉 啓嗣 | 株式会社日本芸能文化社 | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | ③ |
| 黒岩 翔 | ソウルスプラッシュ・エンターテインメント | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | ③ |
| 高橋 剛 | 株式会社エスエルアイ | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | ③ |
| 奥 功二 | 株式会社ハーツコーポレーション | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | ③ |
| 伊藤 公了 | 株式会社KISS・MUSIC | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | ③ |
| 戸田 清章 | ソリッド・インターナショナル株式会社 | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | ③ |
| 花田 一穂 | 福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校 | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | — |
| 宮崎 美鈴 | 福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校 | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | — |
| 清水 敬博 | 福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校 | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | — |
| 佐久間 康明 | 福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校 | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | — |
| 西本 祐介 | 福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校 | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | — |
| 白石 美可 | 福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校 | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | — |
| 古谷 望 | 福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校 | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | — |
| 中村 理佐 | 福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校 | 令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年) | — |

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年6月4日 15:00～16:30

第2回 令和7年2月20日 15:00～16:30 予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

毎年2回実施している教育課程編成委員会は、学校教育全般、専門的な業界知識の向上や現状の業界に対しての教育力を高めるためのご意見やご指導をいただく場としている。ここでいただいたご意見やご要望に関しては、即対応できるものから、時間をかけて取り組むべきことまで様々なものがあり、本校の教育理念に照らし合わせて活かすべきことは積極的に取り入れている。これはカリキュラム・シラバスはもとより、人間教育の面も含まれている。委員会が出た意見の一部とその活用状況は以下の通りである。キャリア教育の一環としての、コミュニケーションスキルアップ検定の導入や、ホスピタリティオリエンテーション等を実施し、セルフマネジメント力の強化に努めている。就労観を養う目的で、企業課題への取り組みや業界のプロとの共同作業を行う中で、個々のレベルに応じたステップを踏むことで必要な技術や知識を習得し、新たな気づきや仕事のやりがいを体感できる授業を実践している。また、個別最適化のカリキュラムとして、自立したアーティストを目指し、自ら立案したコンセプトを基に制作を行い、講師のサポートの下でチームマネジメントやノウハウを身に付ける授業を展開する。今後は立体音響の分野において指導者を確保し、次世代の音づくりについて学ぶ環境を整備する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は実践的な能力を有した職業人教育を行うため、業界と学校が連携して行う「産学連携教育」を教育の基本としている。実践的な能力とは、業界の求める専門技術・知識、並びに人間力を持ち合わせた即戦力人材であると考え、その育成を業界とともに実習・演習を実施していくことを基本方針とする。指導は本校の人材育成に賛同頂ける企業等から講師を招へいし実施しており、またカリキュラムの編成は教育課程編成委員会をベースに様々な業界からのヒアリングや企業訪問、校内就職イベント等での接触時において実施し、カリキュラム編成に活かしていくこととする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

連携企業と協定書を交わした上で企業課題に取り組む「企業プロジェクト」は、業界のプロからの指導のもと、プロの仕事と同じ工程を経験し、「コンセプト力」「クリエイティブ力」「プレゼンテーション力」等、実践力の修得を目的とした演習である。そのプロセスは、①オリエンテーション、②コンセプト作り、③プランニングコミュニケーション、④制作、⑤プレゼンテーション、の一連の流れを経る。

その演習の評価については、制作力と制作過程を通して、実践的な力を身につけているかどうかという視点で判断し、総合的な評価を行う。また職業観や勤労観を養うためにインターンシップ(業界研修)を実施し、企業の担当者の指導のもと、現場体験を深め、更なる即戦力としての技術・知識等の習得を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

| 科目名 | 科目概要 | 連携企業等 |
|------------------------|--|---------------------|
| コンポジションソングライティングプロジェクト | 企業からの楽曲制作依頼をプロの施策現場をシミュレーションしながら、それぞれが役割を分担して楽曲制作を進める | 株式会社日本芸能文化社 |
| 企業プロジェクト | AIやテクノロジーの進化で刻一刻と未来が変化していく中、Challenge the Futureをテーマに企業から映像作品制作の依頼を受け、企画立案から制作・出演まで複数の専門分野と連携し次世代クリエイターを育成する | インテル株式会社 |
| 企業プロジェクト | 未来の業界を担う学生視点でのテクノロジーを活用した新たなビジネス企画を提案し、企業と共にブラッシュアップ、そして企画の商品化に繋げる | 日本マイクロソフト株式会社未来古代楽団 |
| アーティストディレクション | 広く音楽をプロデュースする事を視点に置き、レコーディングについて学ぶ。主に企業からの課題制作を中心に、レコーディング、MIXを学びながら、業界の実際の制作方法を知る。発注者の意図をくみ取り、自主的に作業を進めてゆき、リーダーシップを学ぶ | ソリッド・インターナショナル株式会社 |
| 作品制作ワークショップ | 自ら立案したプロジェクトを題材に作家/アーティストとしてのセルフプロデュース能力を高める為の授業である。プロジェクトの立案/企画/運営→作品制作→発表→検証が一連の流れとなる。単に「楽曲を作る」のではなく、「その楽曲にどう価値を生むのか」までを現役で活躍する講師と一緒に考え、制作に取り組むことで、自身の業界における作家/アーティストとしての自立像を作っていく | 株式会社日本芸能文化社 |

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

研修は教職員規程において、一般教員、学科長、教務部長を対象とし、教員の授業内容・教育技法を改善並びにクラス運営の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定める。

研修内容は組織における人材育成・キャリア開発のサポートを目的とする一般社団法人滋慶教育科学研究所(JESC)との連携を通じての研修を中心に、別途業界関連企業が行う教育関係者向け研修を学校として組織的に計画、実施を行うものとする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

| | | | |
|------|--------------------------|--------|-----------|
| 研修名: | DX推進研修 | 連携企業等: | 滋慶教育科学研究所 |
| 期間: | 2023年6月19日 | 対象: | 教職員 |
| 内容 | データ分析に必要なマインドスキルを理解し活用する | | |

② 指導力の修得・向上のための研修等

| | | | |
|------|------------------------------|--------|-----------|
| 研修名: | FDマイクロレベル研修 | 連携企業等: | 滋慶教育科学研究所 |
| 期間: | 2023年7月5日 | 対象: | 教職員 |
| 内容 | 学修成果の可視化と明確化による教育効果と教育改善に向けて | | |

| | | | |
|------|--------------------------------------|--------|-----------|
| 研修名: | FDマクロレベル研修 | 連携企業等: | 滋慶教育科学研究所 |
| 期間: | 2023年7月14日 | 対象: | 教職員 |
| 内容 | 教育の質保証と質向上の戦略、教育システムのイノベーションをチーム協働する | | |

| | | | |
|------|--------------------------------------|--------|-----------|
| 研修名: | カウンセリング研修 | 連携企業等: | 滋慶教育科学研究所 |
| 期間: | 2023年8月1日 | 対象: | 教職員 |
| 内容 | カウンセリングマインドを身につけ学生や保護者対応できるスキル向上を目指す | | |

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

| | | | |
|------|---|--------|----------------------------|
| 研修名: | 音の魔法イマーシブサウンドの新たな時代 | 連携企業等: | ソリッド・インターナショナル株式会社 |
| 期間: | 2024年6月5日 | 対象: | 教職員 |
| 内容 | イマーシブオーディオがもたらす、新しいエンターテインメントの可能性やビジネスモデルの中で求められる人材について学ぶ | | |
| 研修名: | 音楽配信時代のアーティスト活動 | 連携企業等: | チューンコアジャパン株式会社 |
| 期間: | 2024年6月5日 | 対象: | 教職員 |
| 内容 | 楽曲の配信がサブスクリプションサービスが中心となる現在、アーティストの持つ権利や活動の指針などを学ぶ | | |
| 研修名: | 起業 / スタートアップを目指す! | 連携企業等: | 株式会社Artistic Entertainment |
| 期間: | 2024年6月5日 | 対象: | 教職員 |
| 内容 | エンターテインメント業界で起業するために必要な基礎知識を学ぶ | | |

② 指導力の修得・向上のための研修等

| | | | |
|------|---|--------|----------------|
| 研修名: | 滋慶学園COMグループにおける学生支援/指導方針 | 連携企業等: | 滋慶教育科学研究所 |
| 期間: | 2024年6月25日 | 対象: | 教職員 |
| 内容 | 一人ひとりが成長できる学校をつくるための授業作り・クラス作り、個別支援のためのチーム支援や指導方法について学ぶ | | |
| 研修名: | CSAを活用した学生支援について | 連携企業等: | 滋慶トータルサポートセンター |
| 期間: | 2024年8月1日 | 対象: | 教職員 |
| 内容 | アンケート結果からの分析、学生支援モデルを活用した支援について | | |
| 研修名: | 講師研修会 | 連携企業等: | 滋慶教育科学研究所 |
| 期間: | 2024年8月22日 | 対象: | 講師・教職員 |
| 内容 | 一人ひとりを大切に作る取り組みと事例発表について | | |

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校教職員による委員の他、卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行なった自己点検・自己評価の内容を審議・評価する事を通じて学校運営の改善に活かす事を基本方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの評価項目 | 学校が設定する評価項目 |
|----------------|---------------|
| (1) 教育理念・目標 | 教育理念・目的・育成人材像 |
| (2) 学校運営 | 学校運営 |
| (3) 教育活動 | 教育活動 |
| (4) 学修成果 | 教育成果 |
| (5) 学生支援 | 学生支援 |
| (6) 教育環境 | 教育環境 |
| (7) 学生の受入れ募集 | 学生の募集と受け入れ |
| (8) 財務 | 財務 |
| (9) 法令等の遵守 | 法令等の遵守 |
| (10) 社会貢献・地域貢献 | 社会貢献 |
| (11) 国際交流 | |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員の意見を参考にしながら、学校運営の更なる向上に努めていきたいと考え、様々な取り組みを実施している。教育活動においては情報公開の内容について意見があり、分野ごとの修業年限や到達目標や学習内容をより明確にし、学科やコースの特色を分かりやすく説明する等ホームページの更新を行った。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

| 名前 | 所属 | 任期 | 種別 |
|--------|----------------------|------------------------|---------|
| 井戸川 誠 | 有限会社ソウルマティックス | 令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年) | 卒業生 |
| 末永 奈緒美 | 在校生保護者 | 令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年) | 保護者代表 |
| 戎崎 淳一 | 福岡市大浜公民館 館長 | 令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年) | 地域代表 |
| 清輔 正孝 | 福岡県立香椎高等学校 校長 | 令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年) | 高等学校関係者 |
| 永吉 啓嗣 | 株式会社日本芸能文化社 | 令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年) | 企業役員 |
| 黒岩 翔 | ソウルスプラッシュ・エンターテインメント | 令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年) | 企業役員 |
| 高橋 剛 | 株式会社エスエルアイ | 令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年) | 企業役員 |
| 奥 功二 | 株式会社ハーツコーポレーション | 令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年) | 企業役員 |
| 伊藤 公了 | 株式会社KISS・MUSIC | 令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年) | 企業役員 |

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: https://www.fsm.ac.jp/school/public_info/

公表時期: 2024年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等への具体的な情報提供方法としては、学校関係者評価委員会において、評価項目の添付資料として「教育指導要領・重点項目」を閲覧に供すことで、教育活動から学校運営の情報が提供できるものとする。また、業界関係者である非常勤講師と教職員との間で開催する講師会において、教育活動から学生情報や学校運営に関する情報を提供していくものとする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの項目 | 学校が設定する項目 |
|--------------------|------------------------------------|
| (1) 学校の概要、目標及び計画 | 建学の理念・4つの信頼、校長名・所在地・連絡先、沿革、理事(役員)名 |
| (2) 各学科等の教育 | 受入方針、入学者数、収容定員、在学学生数、学年暦、カリキュラム、4 |
| (3) 教職員 | 教職員数、組織図、教員の専門性 |
| (4) キャリア教育・実践的職業教育 | キャリア教育への取り組み状況、就職・デビュー支援、企業プロジェクト |
| (5) 様々な教育活動・教育環境 | 校舎設備紹介、学校行事への取組状況 |
| (6) 学生の生活支援 | 学生支援への取組状況 |
| (7) 学生納付金・修学支援 | 学費一覧・諸費用について、奨学金案内、機関要件の確認申請書 |
| (8) 学校の財務 | 財務資料 |
| (9) 学校評価 | 自己評価報告書、学校関係者評価委員会 |
| (10) 国際連携の状況 | 留学生の受け入れ、海外実学研修と専門留学 |
| (11) その他 | |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: https://www.fsm.ac.jp/school/public_info/

公表時期: 2024年7月31日

授業科目等の概要

| (文化・教養専門課程 音楽プロデュース科) | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|-------|------|---|--|------------------|------|-------|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | 授業科目名 | | | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| | | | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | ○ | | ミュージックセオリーⅠ Music Theory | 音楽におけるコミュニケーションに必要な基礎知識（楽譜の読み方・音の理解）を習得します。 | 1 年 半 期 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ |
| 2 | ○ | | イヤートレーニングⅠ Ear Training | 音を聴き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、身の回りの音から創作力を習得します。 | 1 年 半 期 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ |
| 3 | ○ | | デジタルファンデーションⅠ・Ⅱ Digital Fundamentals | ビジネス・映像制作アプリケーションの操作方法を学ぶと同時に最新のテクノロジーについての学習を行います。 | 1 年 通 年 | 60 | 4 | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 4 | | ○ | グローバルコミュニケーション Global Communications | 英会話を基礎から学び、国際社会に対応する為の、コミュニケーション力を養います。 | 全 学 年 | 180 | 12 | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 5 | | ○ | 韓国語講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ Korean | ハングルを基礎から学び、国際社会に対応する為のコミュニケーションスキルを養います。 | 1 ・ 2 年 | 120 | 8 | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ |
| 6 | ○ | | キャリア教育Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ Career Education | 様々なワークショップを通して人間関係形成能力・情報活用能力・将来設計能力・意志決定能力を養います。 | 全 学 年 | 180 | 12 | ○ | △ | | ○ | | ○ | ○ | ○ |
| 7 | ○ | | 特別講義 Guest Lecture | 業界よりトップ・プロフェッショナルを招聘し、最新かつ高度な技術・知識、世界水準の思考法等を学び、課題発見・克服に役立てます。 | 全 学 年 | 随時 | 時数による | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 8 | ○ | | 企業プロジェクト Work Assignments | 産学連携教育の一環として業界企業からの課題に応じて楽曲・作品・イベント制作等に取り組み実践力を養成します。 | 全 学 年 | 随時 | 時数による | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| 9 | ○ | | デビューアクティビティ Debut Activity | デビュー活動を通じ、作品制作カプレゼンテーション力を習得します。 | 全 学 年 | 随時 | 時数による | | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ |
| 10 | ○ | | インターンシップ Internship | 業界企業（特に志望企業）の現場で実際の業務に携わり、内定獲得を目標に実践力を習得します。 | 全 学 年 | 随時 | 時数による | | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ |
| 11 | | ○ | キャリアクレジット Career Credits | 学内外を問わず、就職・デビューを目的とした専門分野活動に対し、報告書提出を以って単位認定を行います。 | 全 学 年 | 随時 | 時数による | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| (文化・教養専門課程 音楽プロデュース科) | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|-------|------|------|--|---|------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | 授業科目名 | | | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| | 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| 12 | | | ○ | 海外実学研修 Study Abroad Short Term | 国際教育の一環として、海外の企業や提携校等での研修、ネイティブとの交流を通じ、グローバル感覚を養成します。 | 1年 | 60 | 4 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| 13 | ○ | | | 進級制作 Required Project | 進級に際し、年間の学修成果を作品提出・発表等の形式で表し、そのクオリティーの評価を以って単位認定を行います。 | 1・2年 | 120 | 8 | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 14 | ○ | | | 卒業制作 Graduation Project | 卒業に際し、在学時の学修成果を作品提出・発表等の形式で表し、そのクオリティーの評価を以って単位認定を行います。 | 3年 | 60 | 4 | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 15 | | ○ | | 楽器演奏基礎 I・II Basic Instrumental Technique | ポピュラーミュージックで使用する様々な楽器の基本的な奏法や構造を理解し習得します。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | | | ○ |
| 16 | | ○ | | DTM I・II・III・IV Desktop Music | 音楽制作においてDTMシステムを活用できる技術を習得します。 | 全学年 | | | ○ | △ | | ○ | | | ○ |
| 17 | | ○ | | メロディーメイ キング I・II・III・ IV・V・VI Melody Making | 楽曲制作におけるメロディーラインの作り方を様々なジャンルの楽曲を分析しながら学びます。 | 全学年 | | | ○ | △ | | ○ | | | ○ |
| 18 | | ○ | | ヴォイストレー ニング I・II・III・ IV・V・VI Voice Training | 歌唱における正しい発声方法を理解し、体作りから日々の練習法までの基礎を習得します。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | | | ○ |
| 19 | | ○ | | ダンスベーシ ック I・II・III・IV Dance Basic | 様々なジャンルのダンスを通して、ダンスの基本となる体幹・柔軟性・リズム感・体づくりの知識を身につけます。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | | | ○ |
| 20 | | ○ | | ダンスアドバ ンス I・II Dance Advance | 様々なジャンルのダンスを通して、ダンスの表現力を磨きます。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | | | ○ |
| 21 | | ○ | | マルチパフォー マンス I・II・III・ IV・V・VI Multi Performance | 表現する際に必要となる歌や演技の基礎技術を習得します。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | | | ○ |
| 22 | | ○ | | ダンススタイル I・II・III・ IV・V・VI Dance Style | 様々なダンススタイルを通して、リズム感やボディコントロールなどダンスの基礎力を向上します。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | | | ○ |
| 23 | | ○ | | ヴォイスサン プル I・II・III・ IV・V・VI Voice Sample | 声の演技に必要な感性を磨き台本の理解力を伸ばし、表現方法の向上、キャラクターの確立を習得し、収録に関するテクニカル要素も学びます。 | 全学年 | | | ○ | △ | | ○ | | | ○ |

| (文化・教養専門課程 音楽プロデュース科) | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|-------|------|------|--|---------|------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | 授業科目名 | | | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| | 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| 24 | | ○ | | 表現基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ Basis of Expression より豊かな喜怒哀楽の表現を会得します。自身の体験で得た様々な感情を、表現者としての確にチョイスできるような感情のコントロールを習得します。 | 全学年 | | | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 25 | | ○ | | 動画撮影制作Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ Video shooting production YouTube等の動画撮影の基礎知識から必要な静止画編集(サムネイル制作)や動画編集の仕方を学び実際にアップロードを行います。 | 全学年 | | | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| 26 | | ○ | | 演技論基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ Fundamentals of Acting Theory 芝居に必要な人物の心の流れを理解し、役作りの基本的な考え方を学び、役の人物としての心を学び表現力を身につけます。 | 全学年 | | | ○ | △ | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| 27 | | ○ | | 発声滑舌Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ Vocalization n Practice 鮮明に発声するために欠くことのできない母音から腹式呼吸、口の開き方など、基本的な発声と調音を学びます。 | 全学年 | | | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 28 | | ○ | | ライバー基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ Fundamentals of LiveStreamer VTuberを始める為の基礎知識、アバター制作や配信の基礎を学びます。 | 全学年 | | | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 29 | | ○ | | デザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ Design Live2D、デッサン、イラスト、キャラクターデザインの基礎力を身につけ、デザイン分野のテクニカルツールを学びます。 | 全学年 | | | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 30 | | ○ | | 就職対策Ⅰ・Ⅱ Preparation For Career 社会人になるために必要な言葉遣い、電話対応、ビジネス文書や履歴書・プロフィール作成等の知識やマナーを身につけます。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ |
| 31 | | ○ | | Pro ToolsⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ ProTools 音源制作のユニバーサルツールであるProToolsを使用したレコーディング・音源編集・ミックスダウン技術を習得します。 | 全学年 | | | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| 32 | | ○ | | レコーディングセオリーⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ Recording Engineer Theory スタジオにおける実習の前段階としてレコーディング、及びミックスダウンに関する知識・技術の基礎を習得します。 | 全学年 | | | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| 33 | | ○ | | 音響学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ Sound Science 音響の知識・概念・役割など、基礎的な知識を学びます。 | 全学年 | 600 | 40 | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ |
| 34 | | ○ | | 電気知識Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ Electrical Knowledge 音響機器を扱うに当たって必要な電気の基礎知識や物理的な法則を学びます。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ |
| 35 | | ○ | | 照明概論Ⅰ・Ⅱ Lighting Concept 舞台照明の基礎知識として、さまざまな照明機材やホールに関する知識や、光の効果を学びます。 | 全学年 | | | ○ | △ | | ○ | ○ | | ○ | ○ |

| (文化・教養専門課程 音楽プロデュース科) | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|-------|------|---|--|---------|--------------|-------------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|---------|---|
| 分類 | 授業科目名 | | | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時 数 | 単 位 数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 | |
| | | | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実験・実習・実技 | 校 内 | 校 外 | 専 任 | 兼 任 | | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | | | | | | | | | |
| | ○ | | ライティングベーシック I・II Lighting Basic | 舞台・コンサートの照明技術の基礎を学びます。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| | ○ | | ムービングベーシック I・II Moving Lighting Basic | 主にムービングライトの使い方や仕組みの基礎知識・技術を学びます。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| | ○ | | イベント照明ベーシック I・II Event Lighting Basic | ライブやイベントの照明実習を通じてさまざまな照明の基礎を学びます。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| | ○ | | ライティングワークショップ I・II Lighting Workshop | 1年次に学んだ知識・技術を生かし、照明オペレーターとしての対応力・応用力などを学びます。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| | ○ | | スタッフワークショップ I・II・III・IV STAFF Workshop | コンサートやイベントスタッフとして必要な基礎知識を習得します。 | 全学年 | | | ○ | △ | | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| | ○ | | ビジネスワークショップ I・II・III・IV Business Workshop | ビジネスに必要な事務作業やお金について学びます。 | 全学年 | | | ○ | △ | | ○ | | | | ○ | ○ |
| | ○ | | 実践ビジネス基礎 I・II Business Basic | ビジネスに関わる上で知っておくべき基本的な知識や社会の話題、多彩な講師によるビジネスキャリアを事例を用いて理解していきます。 | 全学年 | | | ○ | △ | | ○ | | | | ○ | ○ |
| | ○ | | 舞台ベーシック I・II Stage Basic | 舞台上のマナーや舞台の仕組み・美術セットを作るための道具使用方法・実際の制作など、舞台における全般の知識を習得します。 | 全学年 | | | ○ | △ | | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| | ○ | | 舞台アドバンス I・II Stage Advance | 舞台セットのデザインや工具を使用した道具制作など、より高度な技術を身につけます。 | 全学年 | | | ○ | △ | | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| | ○ | | イベント企画 Basic I・II Event Planning Basic | イベントやコンサートを企画していくビジネスの基礎を学びます。 | 全学年 | | | ○ | △ | | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| | ○ | | イベント企画 Advance I・II Event Planning Advance | イベントやコンサートを実践していくビジネスの応用を学びます。 | 全学年 | | | ○ | △ | | ○ | | | | ○ | ○ |
| | ○ | | ミュージックセオリーⅢ Music Theory | 音楽による、より緻密なコミュニケーションに必要とされる音程・ハーモニー・リズムの理解を習得します。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ |

| (文化・教養専門課程 音楽プロデュース科) | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|-------|------|------|---|--|--------------|-------------|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | 授業科目名 | | | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時 数 | 単 位 数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| | 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| 48 | | ○ | | ミュージックセオリーⅣ Music Theory | 楽曲制作やアレンジに必要な基礎知識（スケール・コード進行の理解）を習得します。 | 全学年 | | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ |
| 49 | | ○ | | イヤートレーニングⅡ Ear Training | 音を聴き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、身の回りの音から創作力を習得します。 | 全学年 | | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 50 | | ○ | | イヤートレーニングⅢ Ear Training | 音を聴き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、身の回りの音から創作力を習得します。 | 全学年 | | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 51 | | ○ | | イヤートレーニングⅣ Ear Training | 音程・和音・リズムの聴き分けが出来る聴力を習得します。 | 全学年 | | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 52 | | ○ | | 楽曲制作技法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ Songwriting Techniques | 業界で現在最も求められているサウンドを研究し、作品制作を通してクライアントの要望に応えられる制作方法を学びます。 | 全学年 | | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 53 | | ○ | | トラックメイクⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ Track Make | ヒット曲の楽器構成や演奏法をDAW上で表現できるMIDIを使った入力法を学び作品制作を行います。 | 全学年 | | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 54 | | ○ | | DAWオペレーションⅠ・Ⅱ DAW Operation | 最先端のサウンドを作り出すための、リズムトラック制作・エフェクトを使った音色加工を学びます。 | 全学年 | | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 55 | | ○ | | 編集・ディレクションⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ Editing & Direction | 音源の編集及び録音時に必要なディレクション方法について学びます。 | 全学年 | | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 56 | | ○ | | 作品制作ワークショップ Creation Seminar | 映像を伴う楽曲・パフォーマンス作品制作から配信・プロモーションまでを学びます。 | 全学年 | | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 57 | | ○ | | バンドアンサンブルⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ Band Ensemble | バンド形態で楽器だけの演奏、ヴォーカルアンサンブルを通し、様々なジャンルのアンサンブル力やコミュニケーション力を習得します。 | 全学年 | | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| 58 | | ○ | | アンサンブルⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ Ensemble | 様々なジャンルの楽曲をもとに、ヴォーカリスト・ミュージシャンとして必要なアンサンブル力やコミュニケーション力を習得します。 | 全学年 | | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| 59 | | ○ | | ヴォーカルテクニックⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ Vocal Technique | 「スタンダード」と呼ばれる楽曲を課題として取り上げ、細かい表現技法までを理解・分析し、表現の実践力を習得します。 | 全学年 | | | ○ | | ○ | | | ○ | ○ |

| (文化・教養専門課程 音楽プロデュース科) | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|-------|------|--|---|---------|------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | 授業科目名 | | | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| | | | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | | | | | | | | |
| 60 | ○ | | ディクション I・II・III・IV Diction | 英語の楽曲を歌唱するにあたり、言葉を理解してもらう為に必要とされる正しい発音法を習得します。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ |
| 61 | ○ | | ヴォーカル パフォーマンス I・II・III・IV・V・VI Vocal Performance | ヴォーカリストとしてパフォーマンス能力を向上させる為のリズムの取り方、ダンススキル、アクションに加え、ステージマナーまでを習得します。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| 62 | ○ | | スタイルアナライズ I・II・III・IV・V・VI Style Analysis | 音楽業界のスタンダードとされる楽曲をテーマに、構成・アレンジ・奏法・サウンドを分析・吸収し、実践力を習得します。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ |
| 63 | ○ | | テクニック I・II・III・IV Technique | 基礎的な楽器演奏方法、各楽器構造の理解・実践的なテクニックを習得します。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ |
| 64 | ○ | | アーティスト ディレクション I・II・III・IV Artist Direction | レコーディング現場におけるスタジオワークの基本から制作の流れ、制作スタッフやミュージシャンとのコミュニケーションについて学びます。 | 全学年 | | | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 65 | ○ | | レコーディング ゼミ I・II・III・IV Recording Seminar | あらゆる録音形態を駆使したレコーディング実習を通して、音楽制作・スタジオエンジニアの実務応用技術を習得します。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ |
| 66 | ○ | | PAテクニック I・II・III・IV PA Technic | 音響機材のセッティング・オペレーションなどの応用、より深くPAを学びます。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| 67 | ○ | | 配信技術 I・II Broadcast technology | オンライン配信を行う際に必要な知識や技術を学びます。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ |
| 68 | ○ | | SR技術 I・II Sound Reinforcement Technology | 音響機材の特性を学び、いかなる場所や条件でも最適な音が出せるような知識と技術を学びます。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| 69 | ○ | | ライティングアド バンス I・II Lighting Advance | 舞台・コンサートの照明技術のより高度な応用を学びます。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| 70 | ○ | | ムービングアド バンス I・II Moving Lighting Advance | 主に、ムービングライトの使い方や仕組みの応用知識・技術を学びます。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| 71 | ○ | | クリエイティブ 映像 I・II・III・IV Creative Image | 映像編集に関わるソフトを使い、映像編集の基礎から作品作りに使える技術までを習得します。 | 全学年 | 1260 | 84 | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |

| (文化・教養専門課程 音楽プロデュース科) | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|-------|------|---|--|-------------|--------------|-------------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 分類 | 授業科目名 | | | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時 数 | 単 位 数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| | | | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実験・実習・実技 | 校 内 | 校 外 | 専 任 | 兼 任 | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | | | | | | | | |
| 72 | ○ | | コンサート制作 I・II・III・IV Concert production | ライブハウスからアリーナ・ドームクラスまで、コンサートを開催するために必要な知識を学びます。 | 全 学 年 | | | ○ | △ | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| 73 | ○ | | ダンステクニッ ク I・II・III・IV Dance Technic | 様々なジャンルのダンスを通して、リズム感・グルーブ感・ボディコントロールを習得します。 | 全 学 年 | | | | ○ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 74 | ○ | | ダンステクニッ ク アドバンス I・II Dance Technic Advance | より専門的なジャンルを通してダンステクニックを向上します。 | 全 学 年 | | | | ○ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 75 | ○ | | ダンスパフォー マンス I・II・ III・IV・V・VI Dance Performance | ダンススキルを学ぶとともにステージングや魅せ方、表情などステージに立つ際に必要となる表現の実践力を習得します。 | 全 学 年 | | | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| 76 | ○ | | ダンスクリエイ ション I・II・III・ IV・V・VI Dance Creation | 様々なシーンに合わせたダンスのトータルプロデュースを通してクリエイティブ力を習得します。 | 全 学 年 | | | | ○ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 77 | ○ | | ユニットパ フォー マンス I・II・III・ IV・V・VI Unit Performance | ユニットパフォーマンス能力を向上させる為のリズムの取り方・ダンススキル・アクションに加え、ステージマネーまでを習得します。 | 全 学 年 | | | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 78 | ○ | | ナレーション I・II・III・ IV・V・VI Narration | 映像、文章を読み解く力を養い、様々な読みに対応できる力を学びます。 | 全 学 年 | | | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 79 | ○ | | アフレコ I・II・III・ IV・V・VI Voice Over Technique | 映像に合わせて、より高い感情表現を伴った声（台詞）を当てるなど、さらに高度な技術を学び、習得します。 | 全 学 年 | | | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 80 | ○ | | セルフマネジメ ント I・II・ III・IV・V・VI Self management | ライバー成功例をアクセス数、フォロワー数などマーケティング視点で様々な角度から分析。具体的なマネタイズまでのプロセスを実践的に学びます。 | 全 学 年 | | | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 81 | ○ | | ライブプロ ジェクト I・ II・III・IV・ V・VI Project of LiveStreamer | 配信実習を通して配信のテクニカル要素、番組制作の構成要素、トークスキル、SNSプロモーションなどライバーとしての技術・知識を習得します。 | 全 学 年 | | | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| 82 | ○ | | キャリアデザイ ン ワークショップ Career Design Workshops | 作品制作課題・イベント実習を通じてデビュー・就職におけるプレゼンテーション資料制作をできる技術・知識を習得します。 | 全 学 年 | | | ○ | △ | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| 83 | ○ | | コンポジション ソングライティ ングプロジェクト (プリプロダ クション) Composition | 企業からいただいた楽曲制作依頼をプロの制作現場をシミュレーションしながら、それぞれが役割を分担して楽曲制作を進めていきます。 | 全 学 年 | | | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |

| (文化・教養専門課程 音楽プロデュース科) | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|------|------|--|---|---------|----------------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| 84 | ○ | | ステージ・イベントプロダクションプロジェクト Stage & Event Production | 企業やアーティストから依頼されたイベントやコンサートをプロデュースすることにより、マネジメント力を身につけます。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| 85 | ○ | | ゴスペルアンサンブル Gospel Ensemble | 音楽のルーツであるゴスペルを学ぶことで、音楽的な技術やパフォーマンス・コーラスワークを習得するとともに人間力を養い、感性を磨きます。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| 86 | ○ | | ショーケースプロジェクト Showcase Project | 一人のアーティストとしてステージ上で必要とされる様々なスキルを習得するとともに、定期オーディションを学内で開催し、パフォーマンス力・実践力を養います。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ |
| 87 | ○ | | パフォーマンスプロジェクト Performing Project | 企業からの依頼などによってステージや番組に出演することでパフォーマンス力はもちろん、現場に必要なマナーや礼儀を身につけます。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| 88 | ○ | | ミュージカルプロジェクト Musical Project | ミュージカル制作・社会貢献活動を通じて人間性を養い、実学を習得します。 | 全学年 | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 89 | ○ | | ゼミ Seminar | 作品制作など特定の課題に対し研究・演習からプレゼンテーションまでを行い、実践力を養成します。 | 全学年 | | | ○ | △ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 90 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | 89 科目 | 3060 単位 (単位時間) | | | | | | | | | |

| 卒業要件及び履修方法 | | 授業期間等 | |
|------------|---|-----------|------|
| 卒業要件： | 各年次57単位以上を修得し最終学年において卒業認定された者は卒業資格を有する。該当する者は卒業判定会議により最終決定する。 | 1 学年の学期区分 | 2 期 |
| 履修方法： | 1時限 (1コマ) = 90分授業 (各学期15コマを基本とする) 基礎分野・専門基礎分野・専門分野から履修する。 各学期の試験終了後、規程の評価基準と出席率を満たしている科目について単位認定する。 | 1 学期の授業期間 | 15 週 |

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。